



平成27年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月3日 東

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所  
 コード番号 8842 URL <http://www.rakutenchi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田啓三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 岡村 一 (TEL) 03(3631)5195  
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日 配当支払開始予定日 平成26年10月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第2四半期の連結業績 (平成26年2月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第2四半期	4,591	△0.6	770	14.4	792	0.8	478	39.9
26年1月期第2四半期	4,619	△0.3	673	7.3	786	17.4	341	27.9

(注) 包括利益 27年1月期第2四半期 832百万円(40.1%) 26年1月期第2四半期 594百万円(76.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第2四半期	7.99	—
26年1月期第2四半期	5.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第2四半期	34,718	26,973	77.7	450.76
26年1月期	33,905	26,321	77.6	439.84

(参考) 自己資本 27年1月期第2四半期 26,973百万円 26年1月期 26,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年1月期	—	3.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想 (平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△4.4	1,340	△6.7	1,430	△9.2	890	26.7	14.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年1月期2Q	65,112,187株	26年1月期	65,112,187株
② 期末自己株式数	27年1月期2Q	5,271,528株	26年1月期	5,268,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年1月期2Q	59,842,315株	26年1月期2Q	59,848,648株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善している一方で、消費増税の影響により個人消費に弱さが残り、また、海外経済の下振れリスクもあって、先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況下において、売上高は4,591百万円と前年同四半期に比べ28百万円(0.6%)の減収となり、営業利益は770百万円と前年同四半期に比べ96百万円(14.4%)の増益、経常利益は792百万円と前年同四半期に比べ6百万円(0.8%)の増益、四半期純利益は478百万円と前年同四半期に比べ136百万円(39.9%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

#### (不動産賃貸関連事業)

不動産賃貸事業では、主力の楽天地ビルにおいては、「まるごとにつぼん市物産展」などの各種イベントを開催し、顧客満足度の向上をはかりました。また、昨年竣工した賃貸マンション2棟が売上高に寄与し、その他のビルも順調に稼働したため、前年同四半期を上回りました。

ビルメンテナンス事業では、意欲的な営業活動に努め、当初予想を上回る受注額を獲得しましたが、一部不採算事業所からの撤退などにより、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は2,533百万円と前年同四半期に比べ10百万円(0.4%)の減収、セグメント利益は1,201百万円と前年同四半期に比べ99百万円(9.0%)の増益となりました。

#### (娯楽サービス関連事業)

映画興行事業では、記録的な大ヒットになった「アナと雪の女王」をはじめとして、「テルマエ・ロマエII」「マレフィセント」「名探偵コナン 異次元の狙撃手」などの作品が好稼働し、前年同四半期を上回りました。

温浴事業では、「天然温泉 楽天地スパ」「楽天地天然温泉 法典の湯」とともに、降雪の影響がありましたが、各種イベントを積極的に実施したこともあり、前年同四半期を上回りました。

フットサル事業では、「楽天地フットサルコート 錦糸町」において、人工芝張替工事および降雪による休業がありましたものの、「楽天地フットサルコート 調布」は、レンタルコートのお客が増えたことなどから、売上高を伸ばし、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は1,517百万円と前年同四半期に比べ55百万円(3.8%)の増収、セグメント利益は122百万円と前年同四半期に比べ23百万円(24.2%)の増益となりました。

#### (飲食その他事業)

飲食事業では、ドトールコーヒー系フランチャイズ店において、既存店10店は前年同四半期並みとなりましたが、本年1月に「エクセルシオールカフェ ペリエ稲毛店」を閉店しましたので、前年同四半期を下回りました。

その他の事業では、宝くじの全国的な販売数の低迷に加え、本年1月に不採算店舗を閉店したこと、また、ウイNZ錦糸町の来館者が減少したことなどが影響し、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、飲食その他事業の売上高は540百万円と前年同四半期に比べ73百万円(12.0%)の減収、セグメント利益は46百万円と前年同四半期に比べ6百万円(17.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は34,718百万円と前連結会計年度末に比べ812百万円の増加となりました。これは主として、現金及び預金が増加したこと、有形固定資産の減価償却がすすんだこと、および株価の上昇により投資有価証券が増加したことによるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は7,745百万円と前連結会計年度末に比べ160百万円の増加となりました。これは主として、浅草事業場再開発の進捗に伴い環境対策引当金を取り崩したこと、および株価の上昇により増加したその他有価証券評価差額金に係る繰延税金負債を計上したことによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は26,973百万円と前連結会計年度末に比べ652百万円の増加となりました。これは主として、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと、および配当金を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期の見通し)

不動産賃貸関連事業は、楽天地ビルをはじめとする主力ビルやその他のビルにおいては、引き続き順調に稼働する見込みですが、ビルメンテナンス事業では厳しい受注環境が続いていることから、セグメント全体の売上高は前年同期を下回りますが、修繕費、減価償却費などの減少により、セグメント利益は前年同期を上回る見込みであります。

娯楽サービス関連事業は、映画興行事業においては、下期に「映画 妖怪ウォッチ 誕生の秘密だニャン!」などのヒットを見込んでおりますが、「風立ちぬ」などの好調作品が相次いだ前年同期には及ばず、利益面ではデジタル映写機の改修費用などにより、売上高、セグメント利益とも前年同期を下回る見込みであります。温浴事業では「天然温泉 楽天地スパ」「楽天地天然温泉 法典の湯」が引き続き順調に稼働し、売上高は前年同期を上回る見込みですが、修繕費などの増加により、セグメント利益は前年同期を下回る見込みであります。

飲食その他事業は、コーヒーショップをはじめとする飲食店舗においては、本年1月に「エクセルシオールカフェ ペリエ稲毛店」を閉店しましたので売上高、セグメント利益とも前年同期を下回る見込みであります。

以上により、通期の連結業績予想は、売上高9,000百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益1,340百万円(前年同期比6.7%減)、経常利益1,430百万円(前年同期比9.2%減)、当期純利益については、前年同期に計上した事業整理損などの特別損失がなくなるなどから、890百万円(前年同期比26.7%増)を見込んでおります。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(27年1月期 報告セグメントごとの通期業績予想)

1 外部顧客への売上高

	不動産賃貸関連事業	娯楽サービス関連事業	飲食その他事業
通期予想(百万円)	4,984	2,940	1,075
前期実績(百万円)	5,096	3,097	1,224
対前期増減率(%)	△2.2	△5.1	△12.2

2 セグメント利益

	不動産賃貸関連事業	娯楽サービス関連事業	飲食その他事業
通期予想(百万円)	2,392	195	90
前期実績(百万円)	2,258	271	91
対前期増減率(%)	5.9	△28.1	△1.5

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,768,810	2,510,822
売掛金	213,575	201,726
有価証券	1,063,365	1,063,618
その他	230,038	226,870
貸倒引当金	△38	△152
流動資産合計	3,275,752	4,002,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,183,743	15,715,016
土地	5,654,309	5,653,575
建設仮勘定	2,686,425	2,686,425
その他(純額)	260,614	243,518
有形固定資産合計	24,785,092	24,298,535
無形固定資産	283,710	283,176
投資その他の資産		
投資有価証券	4,813,110	5,385,705
その他	748,327	748,393
投資その他の資産合計	5,561,438	6,134,098
固定資産合計	30,630,241	30,715,810
資産合計	33,905,994	34,718,696

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	326,174	317,698
未払法人税等	279,825	314,476
賞与引当金	45,681	45,780
環境対策引当金	100,000	-
その他	1,240,064	1,312,115
流動負債合計	1,991,745	1,990,070
固定負債		
退職給付引当金	545,994	563,023
役員退職慰労引当金	66,249	76,566
資産除去債務	467,201	471,309
受入保証金	4,283,874	4,220,984
その他	229,417	423,147
固定負債合計	5,592,736	5,755,031
負債合計	7,584,482	7,745,101
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,378,537	3,378,537
利益剰余金	21,043,549	21,342,045
自己株式	△1,978,319	△1,979,590
株主資本合計	25,489,802	25,787,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	831,709	1,186,567
その他の包括利益累計額合計	831,709	1,186,567
純資産合計	26,321,512	26,973,595
負債純資産合計	33,905,994	34,718,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
売上高	4,619,625	4,591,036
売上原価	3,401,391	3,242,319
売上総利益	1,218,234	1,348,716
一般管理費	545,200	578,683
営業利益	673,034	770,033
営業外収益		
受取利息	1,787	681
受取配当金	29,414	22,227
持分法による投資利益	65,546	32,838
投資有価証券売却益	53,031	13,292
その他	9,230	7,738
営業外収益合計	159,009	76,779
営業外費用		
支払利息	30,912	26,152
固定資産除却損	9,670	14,984
その他	4,975	12,893
営業外費用合計	45,559	54,030
経常利益	786,484	792,781
特別損失		
事業整理損	137,000	-
減損損失	72,038	-
特別損失合計	209,038	-
税金等調整前四半期純利益	577,445	792,781
法人税等	235,802	314,755
少数株主損益調整前四半期純利益	341,642	478,025
四半期純利益	341,642	478,025

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	341,642	478,025
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	252,654	354,858
その他の包括利益合計	252,654	354,858
四半期包括利益	594,297	832,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	594,297	832,884
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,543,609	1,462,189	613,827	4,619,625	—	4,619,625
セグメント間の内部 売上高または振替高	211,576	915	353	212,844	△212,844	—
計	2,755,185	1,463,104	614,180	4,832,470	△212,844	4,619,625
セグメント利益	1,101,902	98,238	39,564	1,239,704	△566,670	673,034

(注) 1. セグメント利益の調整額△566,670千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△545,200千円、セグメント間取引消去△21,470千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「飲食その他事業」において、当初の収益見込みを下回ることとなった一部店舗（千葉県船橋市等）について減損損失を認識しました。当該減損損失の計上額は72,038千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	2,533,141	1,517,431	540,463	4,591,036	—	4,591,036
セグメント間の内部 売上高または振替高	218,317	1,044	356	219,719	△219,719	—
計	2,751,458	1,518,476	540,820	4,810,755	△219,719	4,591,036
セグメント利益	1,201,574	122,045	46,485	1,370,105	△600,071	770,033

(注) 1. セグメント利益の調整額△600,071千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△578,683千円、セグメント間取引消去△21,388千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。